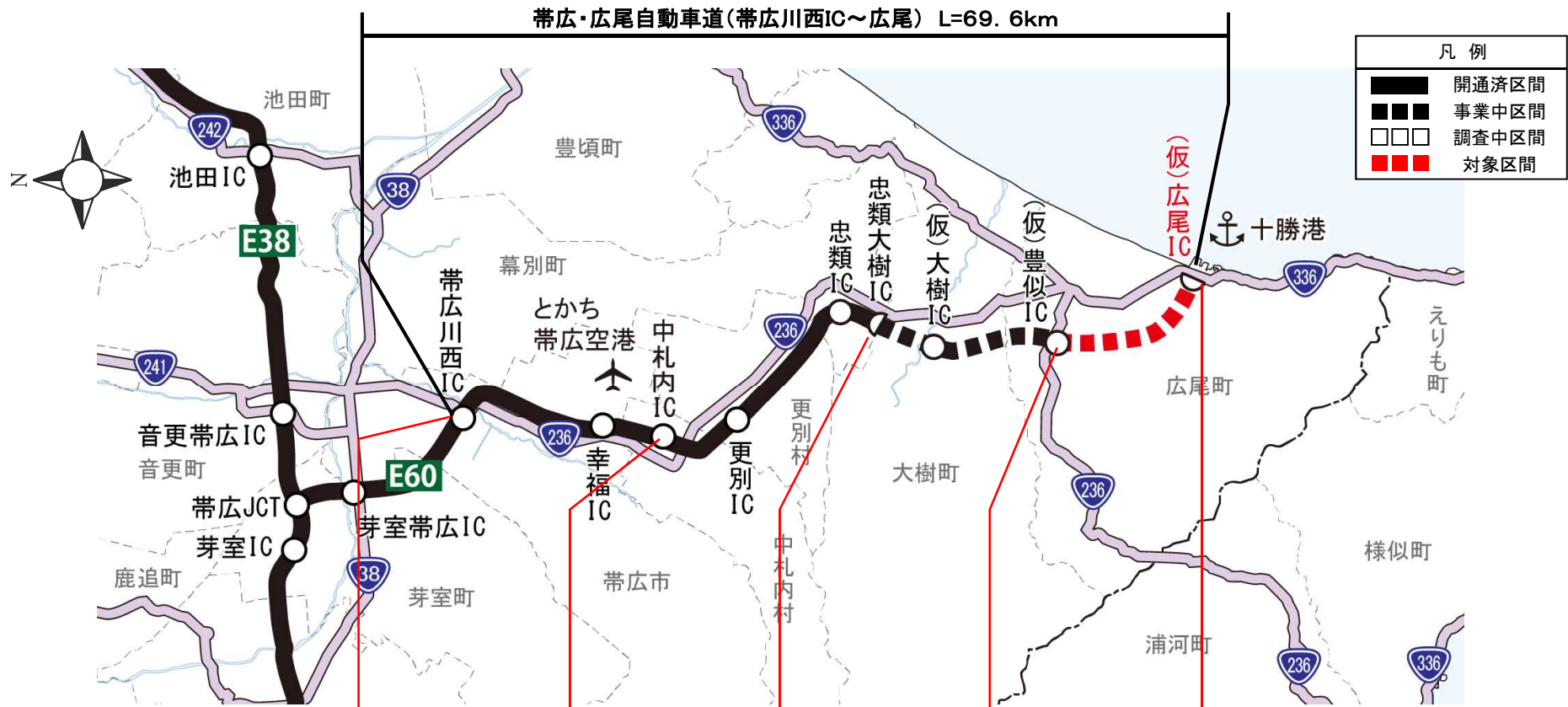


費用便益分析の対象区間

広域ネットワークでの費用便益分析 <帯広・広尾自動車道 大樹広尾道路（豊似～広尾）>



	開通済区間 L=19.0km 川西中札内道路	開通済区間 L=23.2km 中札内大樹道路	事業中区間 L=15.1km 大樹広尾道路 (忠類大樹～豊似)	新規事業候補区間 L=12.3km 大樹広尾道路 (豊似～広尾)	B/C	EIRR
新規事業化 候補箇所			※1	○	0.7	2.0%
一体評価区間※2	○	○	○	○	1.2	5.2%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR3として計算

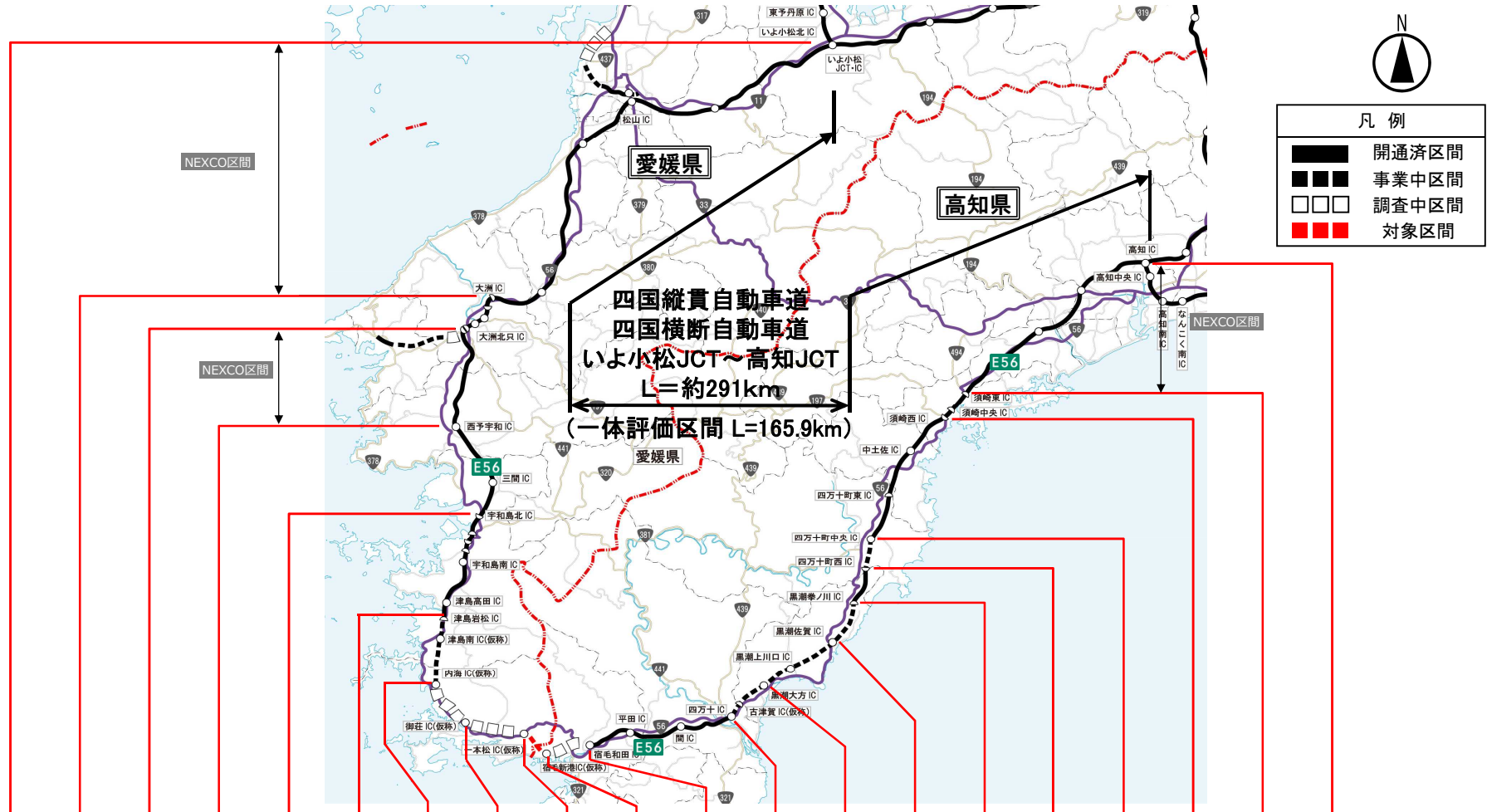
広域ネットワークでの費用便益分析 <日高自動車道 静内三石道路（静内～東静内）>



	開通済区間 L=20.0km 厚真門別道路	開通済区間 L=20.0km 門別厚賀道路	事業中区間 L=16.2km 厚賀静内道路	新規事業候補区間 L=8.0km 静内三石道路 (静内～東静内)	調査中区間 L=12.3km 静内三石道路 (東静内～三石)	調査中区間 三石～浦河	B / C	EIRR
新規事業化 候補箇所			※1	○			1.01	4.1%
一体評価区間※2	○	○	○	○	○		1.3	5.3%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR3として計算

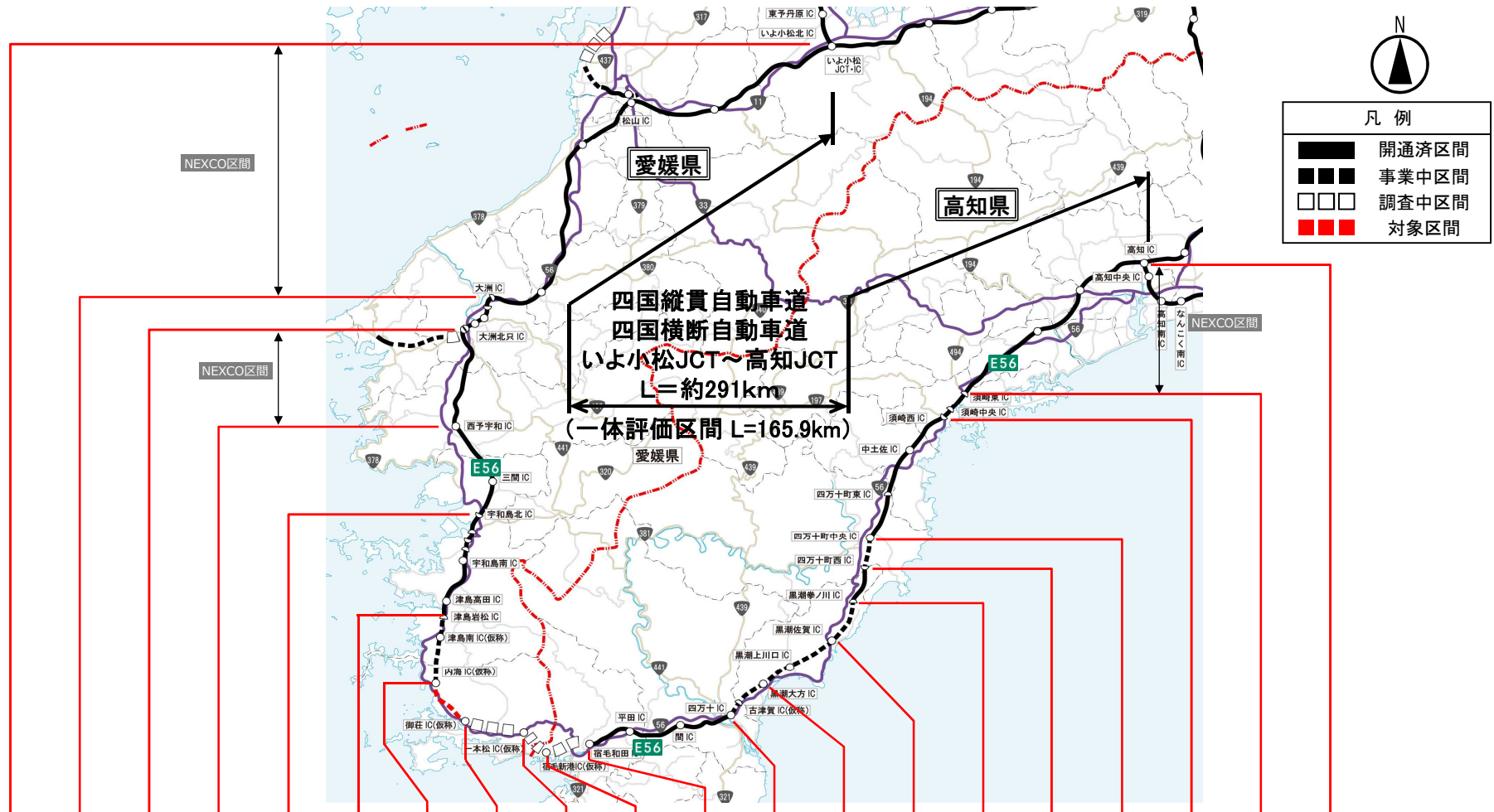
広域ネットワークでの費用便益分析 <四国横断自動車道 宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）>



	開通済区間 L=75.4km (松山自動車道)	開通済区間 L=6.3km (大洲道路)	供用区間 L=15.7km (松山自動車道)	開通済区間 L=16.3km (宇和島道路 ～西予宇和)	開通済区間 L=17.5km (宇和島道路)	事業中区間 L=10.3km (津島道路)	調査中区間 L=7.6km (宿毛内海道路 (御荘～内海))	調査中区間 L=9.8km (宿毛内海道路 (一本松～御荘))	新規事業 候補箇所 L=4.7km (宿毛内海道路 (宿毛新港 ～一本松))	調査中区間 L=7.1km (宿毛内海道路 (宿毛和田 ～宿毛新港))	開通済区間 L=20.7km (中村宿毛道路)	事業中区間 L=7.9km (大方四万十 道路)	事業中区間 L=14.0km (佐賀大方道路)	事業中区間 L=6.2km (窪川佐賀道路 佐賀工区)	開通済区間 L=6.1km (片坂バイパス)	事業中区間 L=5.0km (窪川佐賀道路 窪川工区)	開通済区間 L=21.8km (須崎新庄 ～窪川)	開通済区間 L=4.6km (須崎道路)	供用区間 L=34.2km (高知自動車道)	B/C	EIRR	
新規事業 候補箇所						※1			○			※1	※1	※1		※1				0.3	-1.6%	
一体評価 区間※2	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	1.4	6.2%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR3として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <四国横断自動車道 宿毛内海道路（御荘～内海）>



	開通済区間 L=75.4km (松山自動車道)	開通済区間 L=6.3km (大洲道路)	供用区間 L=15.7km (松山自動車道)	開通済区間 L=16.3km (宇和島北 ～西予宇和)	開通済区間 L=17.5km (宇和島道路)	事業中区間 L=10.3km (津島道路)	新規事業 候補箇所 L=7.6km 宿毛内海道路 (御荘～内海)	調査中区間 L=9.8km 宿毛内海道路 (一本松～御荘)	調査中区間 L=4.7km 宿毛内海道路 (宿毛和田 ～一本松)	調査中区間 L=7.1km 宿毛内海道路 (中村宿毛道路 ～宿毛新港)	開通済区間 L=20.7km (中村宿毛道路)	事業中区間 L=7.9km (大方四方十 道路)	事業中区間 L=14.0km (佐賀大方路)	事業中区間 L=6.2km (窪川佐賀道路 佐賀工区)	開通済区間 L=6.1km (片坂バイパス)	事業中区間 L=5.0km (窪川佐賀道路 窪川工区)	開通済区間 L=21.8km (須崎新莊 ～窪川)	開通済区間 L=4.6km (須崎道路)	供用区間 L=34.2km (高知自動車道)	B/C	EIRR	
新規事業 候補箇所						※ 1	○					※ 1	※ 1	※ 1		※ 1					0.3	-1.9%
一体評価 区間※2	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	1.4	6.2%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR3として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <九州横断自動車道延岡線 矢部清和道路>



	事業中区間 延長23.0km			新規事業 候補箇所 延長10.3km	調査中 区間 延長4.4km	事業中区間 延長7.9km 蘇陽五ヶ瀬道路	事業中区間 延長9.2km 五ヶ瀬高千穂道路	事業中区間 延長3.3km 高千穂雲海橋道路	開通済区間 延長5.1km 高千穂日之影道路	調査中 区間	開通済区間 延長3.1km 北方延岡道路	B/C (全事業)	EIRR
	開通済区間 延長1.8km	開通済区間 延長10.8km	-										
新規事業 候補箇所	※1			○	※1	※1	※1	※1				1.1	4.5%
一体評価 区間※2	○			○	○	○	○	○	○		○	1.3	5.6%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR3として計算

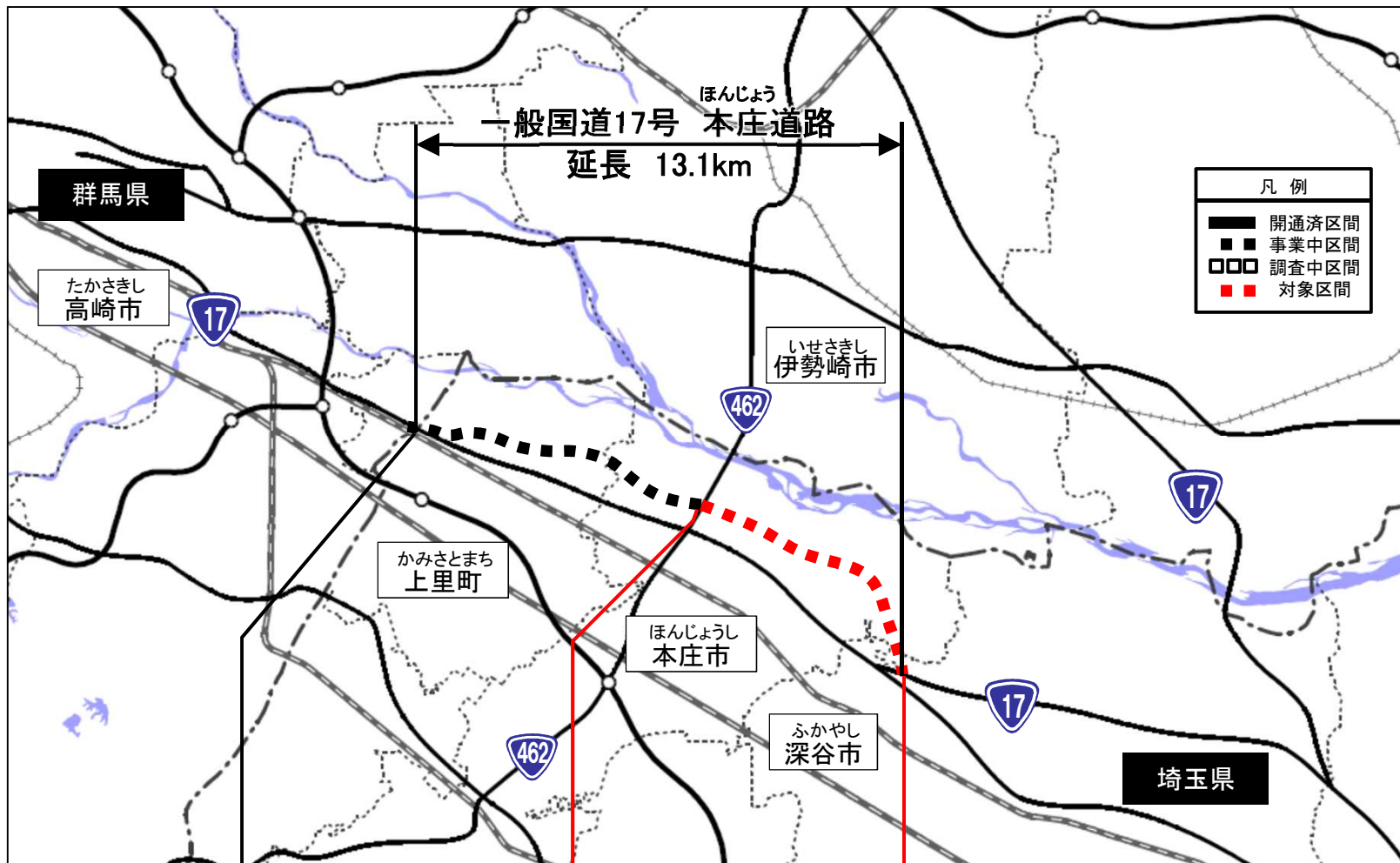
広域ネットワークでの費用便益分析 <一般国道4号 野辺地七戸道路>



	新規事業候補箇所 L=7.1km	開通済区間 L=6.9km (野辺地バイパス)	開通済区間 L=6.3km (有戸バイパス)	開通済区間 L=6.3km (有戸北バイパス)	開通済区間 L=5.8km (吹越バイパス)	事業中区間 L=7.0km (横浜南バイパス)	事業中区間 L=10.4km (横浜北バイパス)	調査中区間 L=10.6km (都計済)	事業中区間 L=5.3km (むつ南バイパス)	開通済区間 L=1.3km (むつ南バイパス)	事業中区間 L=2.1km (むつ南バイパス)	B/C	EIRR
新規事業化候補箇所	○					※1	※1		※1		※1	1.3	5.9%
一体評価区間※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.2	4.7%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR3として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <一般国道17号 本庄道路（II期）>



	事業中区間 L=7.0km (本庄道路 I 期)	新規事業候補箇所 L=6.1km (本庄道路 II 期)	B/C	EIRR
新規事業候補箇所	※1	○	2.5	9.7%
一体評価区間※2	○	○	2.2	8.6%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR3として計算

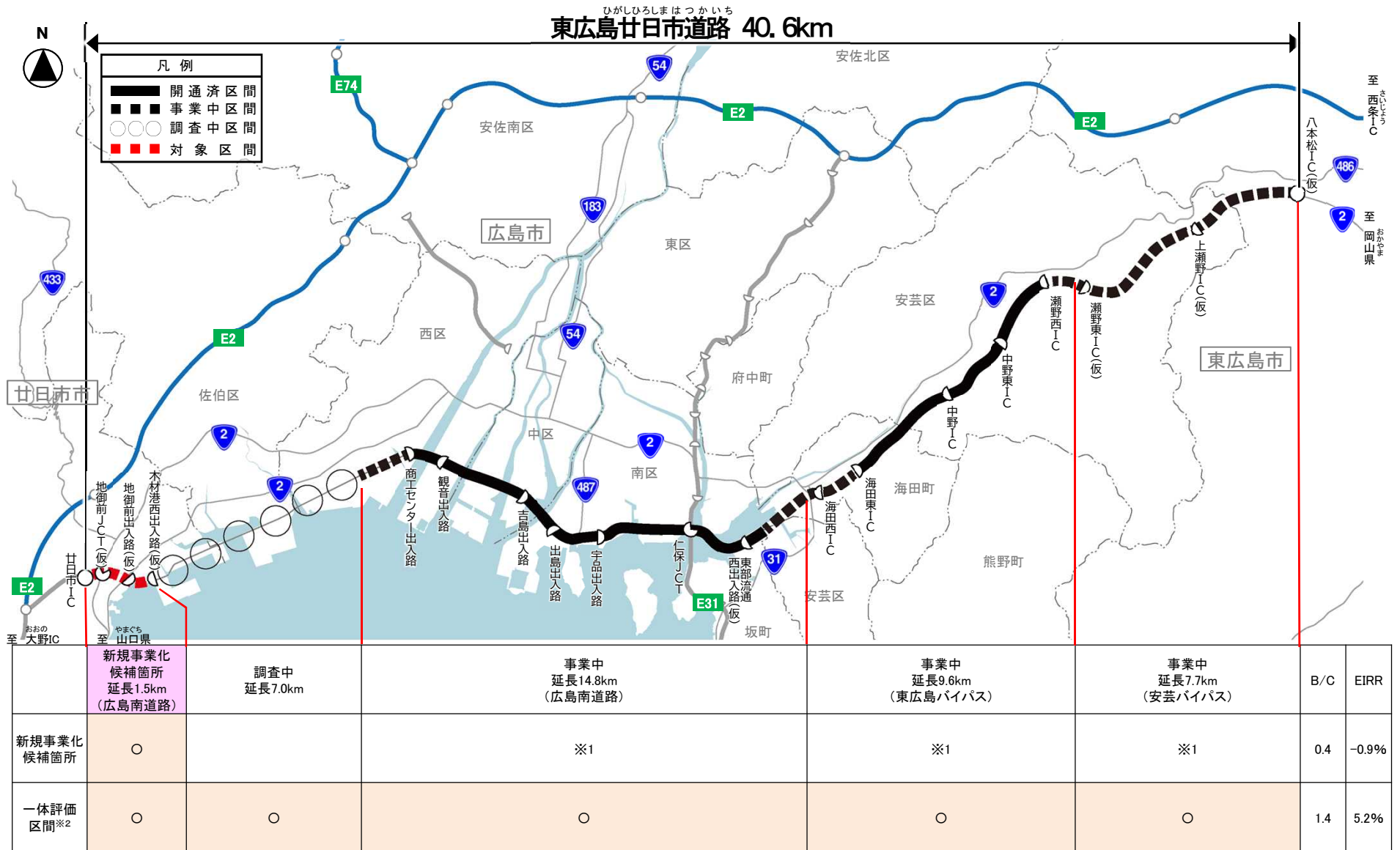
広域ネットワークでの費用便益分析 <一般国道7号 沼垂道路>



	調査中区間 L=0.7km (新潟島道路)	開通済区間 L=1.5km (万代橋下流橋)	新規事業候補箇所 L=1.6km (沼垂道路)	事業中区間 L=1.4km (栗ノ木道路)	事業中区間 L=0.7km (紫竹山道路)	開通済区間 L=2.4km (亀田バイパス)	B/C	EIRR
新規事業候補箇所			○	※1	※1		1.2	5.1%
一体評価区間※2		○	○	○	○	○	4.4	26.4%

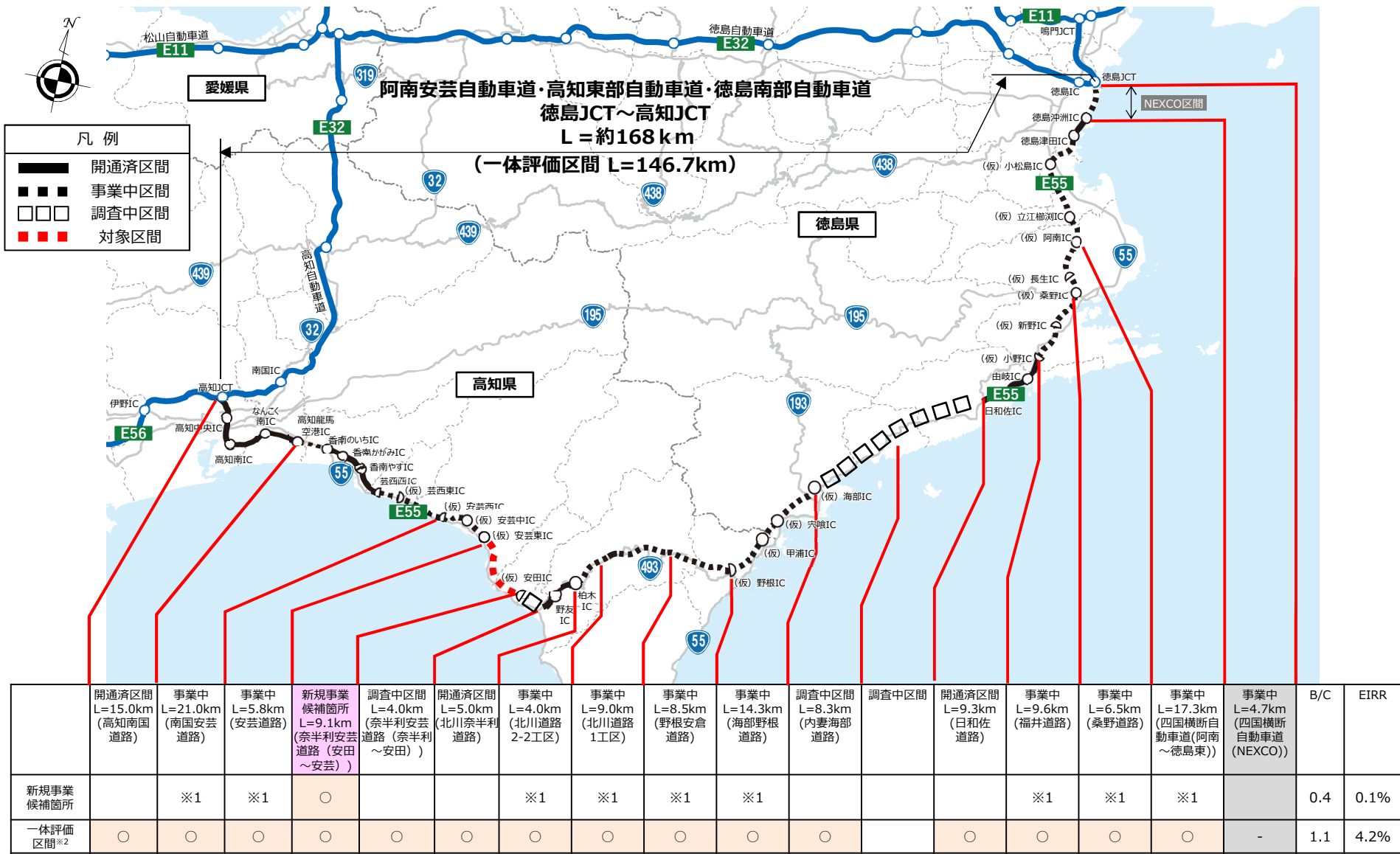
○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR3として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <一般国道2号 広島南道路（木材港西～廿日市）>



○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR3として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <一般国道55号 奈半利安芸道路（安田～安芸）>



○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR3として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <一般国道57号 大津熊本道路（大津西～合志）>



	調査中区間	事業中区間 延長9.1km (大津熊本道路) [合志～熊本]	事業中区間 延長約4.7km (大津熊本道路) [大津西～合志]	調査中区間 延長約4.2km	開通済区間 延長11.9km (北側復旧道路)	調査中区間	事業中区間 延長6.3km (滝室坂道路)	事業中区間 延長22.5km (竹田阿蘇道路)	開通済区間 延長12.3km (大野竹田道路)	開通済区間 延長8.7km (千歳大野道路)	開通済区間 延長4.3km (犬飼千歳道路)	調査中区間	B/C	EIRR
新規事業化候補箇所		※1	○				※1	※1					1.3	5.4%
一体評価区間※2		○	○	○	○		○	○	○	○	○		1.2	5.2%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象
 ※1: 新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む
 ※2: 基準年をR3として計算